

# 令和5年度学校評価表

## 【年度末】

1 学校教育目標						
教育基本法並びに学校教育法の精神にのっとり、中学校教育の基礎にたって、様々な学習活動を通して知識や技能を修得させ、個性豊かな良識ある社会人を育成する。						
2 中・長期的目標						
(1) 生徒が基本的生活習慣を身につけ、社会や学校のルールやマナーを守ることの大切さを理解して行動するよう意識向上を図ります。 (2) 生徒が落ち着いて学習を取り組める環境を維持し、生徒・教職員ともに授業を第一としてその改善に取り組み、基礎学力向上と知識・技能の習得を図ります。 (3) 生徒・教職員ともに思いやりの心をもって自分自身と他者を尊重し、「いじめ・体罰・ハラスメント」は「しない・させない・許さない」姿勢で臨み、学校が一丸となってその防止に努めます。 (4) キャリア教育を充実させ、早期から進路意識の形成を支援し、学習や学校諸活動における協働的活動を通して自己実現と社会につながる力を高めます。 (5) 本校の教育活動についての情報発信に努め、生徒・職員全員が保護者・地域と学校との関わりの大切さを認識し、地域に愛され、信頼される学校づくりを目指します。						
(A:おおむね達成されている B:部分的に達成されている C:達成されていない D:判断できない)						
3 中・長期的目標に基づく 今年度の重点目標・具体的方策				年度末評価		
具体的目標と方策		評価の観点				
(1) に係り		A	B	C	D	成果と今後の課題
①《生徒会係》 生徒会の各委員会が、それぞれにより良い協力関係の構築・礼儀・モラル・地域連携などに係る具体的な目標を掲げ、主体的な活動に取り組む。		64%	36%	0%	0%	・委員会活動を全校で取り組んできた。しかし一部の生徒の活動になってしまったり不参加の生徒への指導が行き届かなかったりすることがあった。今後さらに全校生徒が一丸となって生徒会活動に参加できるよう取り組んでいきたい
②《生徒会係・生徒指導係・図書防災清美係》 挨拶運動・清掃活動を、生徒会主体で継続的に行う。また職員個々が積極的に生徒への声掛けをし、挨拶・清掃活動を励行する。		57%	39%	4%	0%	・立ち番などを通してあいさつや声掛けを行い、生徒からの返事も一定程度返ってくるようになった。今後は校内でのあいさつや目が実行されるような雰囲気を構築していきたい。 ・委員会活動を全校で取り組んできた。しかし一部の生徒の活動になってしまったり不参加の生徒への指導が行き届かなかったりすることがあった。今後さらに全校生徒が一丸となって生徒会活動に参加できるよう取り組んでいきたい ・久しく行えていた避難訓練を実施したが大きな問題もなく実施することができた。8月の実施だったため、熱中症の不安から教室でのオンライン講習とした。可能であればもう少し早い段階で実施できれば理想的だと思われる。
③《生徒指導係・学年》 遅刻・早退・外出や服装や頭髪・盗難・交通マナー・携帯電話やスマートフォンのマナーなどに係る規範意識の向上に努める。		43%	39%	18%	0%	・颶ごっこの面はあるが、頭髪や服装は直そうとする姿勢ははきてている。交通マナーは外部からの苦情などがあり、自転車の乗り方など交通ルールを理解していない面も見られた。交通安全のルールを学ぶ機会を設け、ルールを遵守させたい。
(2) に係り		A	B	C	D	成果と今後の課題
①《各教科》 授業公開などの実施を通じて、お互いによりわかる授業を目指す。		36%	54%	7%	4%	・授業公開は、教科横断的に相互に授業を参観しあって授業改善につながれる良い機会である。しかし、その機会が乏しかったので、定期的にかつ回数を多く持つなどの工夫をしたい。 ・授業アンケートの結果をもとに、客観的に自己の授業を見つめ直すことができた。 ・ICT機器の効率的な活用をするとともに、個別指導の対応をしていく
②《学年・各教科》 課題等により、家庭学習・自学自習の習慣を身に付けさせる。		18%	50%	29%	4%	・保護者から家庭学習を充実させてほしいとの要望がアンケートを通して寄せられていたが、改善することができなかつた。定期的かつ効果的に課題を課すことでの家庭学習を充実させ、学習習慣の確立や基礎学力向上につなげたい。 ・新聞スクラップの提出を週1回のペースで通年で実施したが、社会情勢に興味を持たせきれなかつたため、今後の課題である。
③《各職員》 正味50分の授業を実施するとともに、生徒の授業への遅刻をなくす。		32%	54%	14%	0%	・授業開始時刻よりも早く授業準備をするよう呼び掛けた。 ・ICTを活用した授業を展開することができた。 ・ICTの活用により、生徒へのアドバイスや情報提示以外にも教員同士の情報共有にも活用できた。
④《学年・図書防災清美係》 読書週間の設定により、読書意識の涵養をはかる。		64%	36%	0%	0%	・今年度は、「本を読みたくない、読めない生徒の読書の壁を低くしたい」「図書館では選定基準を元に選書し、知識を得られるものも多い」などの理由から「齐読書の際に図書館にあるマンガに限り「可」とした。また、期間中クラスへの貸出も行った。生徒へのアンケートでは「本を読むと疲れる」などの回答もあったが、「しばらくの間あまり本を読んでいたくなかったので、いい機会ができた」「意外と読んでみるとおもしろい」という感想もあつた。
(3) に係り		A	B	C	D	
①《教務係・生徒指導係・各職員》 学校生活のきまりを明確にし、規律ある学習環境づくりを行い、すべての生徒が安心して学習できるようにする。		25%	68%	7%	0%	・校則や社会の在り方などクラス掲示などで繰り返し連絡したが、同じような苦情が定期的に学校に届いた。校則をHPに掲載するなどして、学校の在り方を広く明示していきたい。 ・全体指導と個別指導を使い分け、機に応じて指導を図った。 ・時間が経つにつれて決まりを守らなくなる生徒への指導の工夫が必要と感じた。
②《生徒会係・学年》 生徒会、学年各種行事を通じて「紳づくり」、「仲間意識の向上」の視点で生徒の集団づくりを促す。		43%	54%	4%	0%	・生徒自身が考え「協働」することの意義を自覚させて取り組んだ。しかしまだまだ自己中心的な考え方が多く見られる。他者理解を深めるためにも「協働」の体験を増やしていきたい。 ・各種委員会や行事等の計画運営をにおいて指導することで、紳づくり、仲間意識の向上に寄与できた。 ・松濤祭において、展示の仕方を工夫し、全生徒に役割分担できるように図るなど、生徒自身で行えるように支援ができた。
③《生徒指導係・生徒相談特別支援係・学年》 「いじめは絶対に許さない」姿勢を周知徹底させる。		54%	43%	0%	4%	・いじめ防止アンケートとその記述内容に応じて面談をていねいに行ってきた。一方でSNSなどのグループラインで交わされる意見がいじめの温床になりつつあるため、SNSの利用法などの生徒向けの講演を考えたい。
④《生徒指導係・生徒相談特別支援係》 いじめ防止に係る様々な研修会を実施し、日々の活動で人権意識の向上に努める。		46%	50%	4%	0%	・7月に職員研修を実施。生徒に関しては1学年は9月、2学年は7月に対人関係におけるワークショップを行った。さらに2回の人権平和教育等を行って人権意識の向上に務めた。今後も生徒の実態を踏まえ、人権意識を向上させる取り組みを実施していきたい。

⑤《生徒指導係・学年》 人権に係る指導を継続的に行い、暴力やいじめなどを見逃さない取り組みを強める。	・H.R.や授業など様々な学校生活の場面において日常的に機に応じた指導が行えたか。 ・暴力やいじめなどについて適切な指導がなされたか。	39%	57%	0%	4%	・担任としての姿勢を全体に示し、問題発生時は傾聴を心がけて指導を行った。 ・問題発生した際には、個々の対応ではなく複数の職員で対応し、学校として取り組み、真摯な姿勢で対応し、適切な指導ができた。 ・今後、生徒には自分が困ったときに相談できるような人間関係の構築をさせるよう指導したい。
(4) に係り	A B C D	成果と今後の課題				
①《学年・進路指導係》 進路指導の方針や指導計画を、より具体的なものとし、全職員の共通理解を得る。	・より具体的な指導方針・計画が提示され、職員の共通認識が得られたか。 ・計画にもとづき、継続的な指導がH.R.で実践できたか。	50%	50%	0%	0%	・各学年とも、計画通りに進路行事を実施することができた。3学年では志望理由書作成指導において、学年職員全員が関わる体制を構築することで一定の成果を得ることができた。 ・個々の生徒に対して、進路や人生設計について多くの知識を踏まえて発信することができたよう思う。 ・進路実現のために必要な学力や知識を3学年までにつける指導を1・2学年から計画的に実施していきたい。
②《進路指導係》 進路に向けて生徒個々の意識向上への働きかけをする。(キャリア教育の推進)	・仕事への関心を持たせることができたか。 ・看護体験等の各種体験事業・インターンシップ・オープンキャンパスへの参加が拡大したか。	39%	61%	0%	0%	1年生は企業・学校見学を通じて実際の働く様子や学校の様子に触れることで、進路へのイメージをより鮮明に持たせることができた。2年生はインターンシップやオープンキャンパス、産業フェアへの参加を通じて、より具体的に仕事に対する意識を持たせることができた。3年生はその体験を自己の進路選択に生かすことができた。今後も、これらとの取り組みは継続して実施していくたい。
③《進路指導係》 組織的な進学・就職・公務員等それぞれの適切な指導を実施する。	・進学希望者、就職希望者、公務員希望者それぞれに対して指導が効果的に行えたか。	43%	54%	0%	4%	進学希望者に対しての教科指導は、各学年の補習計画に基づき実施してきた。総合型選抜や学校推薦型選抜での受験が多数を占めるため、小論文対策や面接対策を早い段階から計画的に進めが必要がある。就職希望者にはハローワーク等によるガイダンス、相談会参加、適性検査、面接講習会等を実施した。また、昨年度に引き続きハローワークの協力により企業の採用担当者による模擬面接も実施することができた。公務員希望者には前年度並みに月2回の専門学校講師によるセミナーや公務員模試などの対策を講じた。後半は希望者が少なかったためセミナーの実施はなかったが、外部の講座や模試への参加を促した。多くの教員がそれぞれの進路希望に合わせて、面接指導や小論文指導を適切に実施することができた。
④《進路指導係》 生徒への継続的な進路相談の機会を提供する。	・進路相談(面談)を定期的に行うことができたか。	57%	43%	0%	0%	3年生は6月に進路係面談を実施し、係として生徒の希望進路の把握に努めた。2年生は12月に実施し、進路についての悩みの把握や適切なアドバイスを行った。面談結果を担任と共有しながら、進路からも必要な情報の発信をしていきたい。
(5) に係り	A B C D	成果と今後の課題				
①《生徒指導係》 生徒指導のきまりや懲戒指針などが保護者に十分理解されているか。	・入学時やPTA総会、懇談会等の折に、全学年にわたり資料提示や説明がなされたか。	71%	21%	7%	0%	・時期に応じて指針や服装規定に関して守るべきことがら、自転車利用法やヘルメット着用の資料を提示できた。今後は提示した規則などを意識させ守られる指導を考えていきたい。
②《教務係・PTA同窓会係》 地域や保護者の学校への期待や要望をできる限り把握し、その内容を検討する。	・地元に根差した学校評議員や地域住民の意見を学校評議員会や公開授業でのアンケートを通じて汲み上げることができたか。 ・学年および学級PTAなどの意見を積極的に汲み上げるなど、要望等を把握し内容を検討の上、フィードバックできたか。	46%	50%	4%	0%	・今年度は新型コロナが5類に移行し、行事予定表通りに公開授業や体験入学を実施することができた。状況はアンケートを実施して職員間での共有をしている。今後も、地域の意見をくみ上げる機会を設けたい。また、集まつた意見を参考に、年間行事予定表にも反映させていく。 ・数年来開催できなかったPTA総会・学年PTA・学級PTAを開催し、情報発信や保護者の意見を聞くことができた。
③《学年・教務係》 様々な機会をとらえた情報発信により、保護者や中学生・地域との連携を深める。	・定期的な学年通信・学級通信の発行、ホームページの更新などにより、保護者や中学生、地域の方々に情報提供を積極的に行なうことができたか。	46%	54%	0%	0%	・毎月学年通信やクラス通信を通しての情報発信を行い、学年やクラスでの取り組みなどを保護者の方々と共有することができた。 ・HPの更新と改善にこころがけ、諸行事等の様子を積極的に発信した。更新回数も昨年度より増え、松代通信においては40回以上の更新を行えた。今後も情報発信についてはその機会を増やす努力を継続したい。
④《生徒会係・各職員》 生徒会や職員が、地域と積極的に関わる。	・通学路の清掃活動を充実させることができたか。 ・地域の活動に積極的に参加することができたか。 ・職員の街頭指導により、挨拶や公共のマナーを向上させることができたか。	25%	68%	7%	0%	・生徒会役員による地域清掃（松代町内ゴミ拾い活動・年2回）に取り組んだ。地域の方の励ましや感謝の言葉を直接生徒がいただき励みになった。今後も継続したい。 ・授業や探究の時間とおして多くの地域の方と交流を得ることができた。これからも地域の活動への参加や交流を行い、社会の一員としてのマナー向上にも取り組みたい。
⑤《PTA同窓会係》 総会・学年および学級PTAなどのあり方を工夫し、参加者の増加をめざす。	・しっかりアピールができたか。 ・参加率の増加が見られたか。 ・保護者・職員の協力が得られたか。	36%	54%	11%	0%	・PTA総会・学年PTA・学級PTAを数年ぶりに開くことができた。 ・PTAの各委員会での活動が活発にできた。（プール周囲の草取り、スパイクターフの設置、松濱祭でのドーナツ販売、保健協議会開催、交通指導。） ・課題として、保護者職員の更なる協力が必要。PTA総会の参加者を増やすための工夫を検討していく。

## 令和5年度 学校評議員によるご意見（学校関係者評価）

◆次の項目について、評価の観点に基づきご意見を記入してください。

評価項目	評価の観点	感想・意見・提言
1 教育目標 目指す学校像	評議員の目に映る本校生徒の実態、保護者や地域の願いをもとに、教育目標・目指す学校像についてご意見をください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方のご尽力により、成果が上がっている。また、しっかりした教育目標で実践されていると思った。</li> <li>令和5年度学校評価表は詳細にわたり記載されているが、作成目的が分かりづらい。大項目での作成にするなど工夫が必要だと感じた。この資料を作成するために必要な膨大な時間の短縮にもなるのではないか。</li> </ul>
2 学習指導 (わかる授業を通じて生徒の学力向上と定着をはかる)	公開授業の実施や授業アンケート等により授業改善に役立てるとともに、週末課題等により家庭学習や自学自習の習慣が身につけられるよう努力していますが、お気づきの点についてご意見をください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>補習授業や進学者向け授業などが必要ではないか。また生徒が自主的に取り組む姿勢も大切である。</li> <li>自宅学習の時間を確保できるような工夫や配慮をもっと進めてもらいたい。</li> <li>授業に講師として呼ばれ、SDGsについて講演した。生徒たちにはなじみがない内容であったが、素直で積極的に話を聴き、その明るさに驚いた。また、先生のサポートもいただき、生徒たちの明るく柔軟な感性を嬉しく実感した。</li> </ul>
3 進路指導 (キャリア教育の充実を目指し、早い時期からの進路意識の涵養と進路実現に向けた働きかけをする)	幅広い方々の協力を得ながら進路意識の向上に努めるようになっていますが、本校の進路・学習指導のさまざまな企画についてご意見をください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップ等を通じ働くことの楽しさ、価値を見いたせればよいと思う。また、早い段階で進路の方向性を意識することが必要だと思う。</li> <li>キャリア教育を実施していただいている、進路を考える上で役立っていると思う。</li> </ul>
4 生活指導 (礼儀とモラルをわきまえ、規律ある行動のできる生徒の育成)	本校では、生徒が落ち着いた学校生活を送ることができるよう努力していますが、評議員から見て、生徒の日常生活や、校外での生活についてお気づきの点を記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統ある商業科の影響かと思うが、就職率が良い。</li> <li>推薦入学ができるよう大学との協定等、何か方法があるのでしょうか。</li> <li>進学率を向上させるための方策を考えてほしい。</li> <li>進学を目指す学習クラブ等の創設はできないものか。</li> <li>もう少し大学進学を目指す人が増えてほしい。</li> </ul>
5 自主活動支援 (より良い人間関係の構築と主体的活動の充実)	松濤祭や校外ゴミ拾い活動や清掃活動などから、生徒会活動についてご意見をください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>活発な活動が見られてよい。</li> <li>地域のボランティア活動の実施をお願いしたい。</li> <li>町内のゴミ拾い活動を行ってくれるのはありがたいが、その他の祭りや行事に積極的な参加をお願いしたい。</li> <li>松濤祭など生徒が自主的に計画し、実施してほしい。</li> </ul>

	<p>個人やクラブ単位でのボランティア活動等への参加を積極的に呼びかけていますが、何かお気づきの点がありましたらご記入ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の清掃活動など積極的な参加がすばらしい。</li> <li>・地域の人に生徒の活動が見え、知ってもらうことが大切。</li> <li>・さらなる地域連携が行えればよい。</li> </ul>
	<p>クラブ活動に約61%の生徒が加入していますが、クラブ活動の状況についてご意見をください。(昨年約62%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動への加入率や参加が減少傾向になっているように感じる。</li> <li>・勉学と合わせて、クラブ活動で人とのコミュニケーションなど学ぶことが多いと思うので、参加する生徒が増えてほしい。</li> <li>・運動部の活動が何よりも学校のPRになると思う。</li> </ul>
	<p>本校は、ホームページ、回覧版、同窓会報、PTA会報等を通して、教育活動の情報提供をしていますが、その内容は、学校の様子が伝わるものですか、ご意見をください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真などを多数使って、学校の様子がよく分かって良い。</li> <li>・このまま継続してほしい。また、学校のPR新聞を作るようなクラブ活動を創設してはどうか。</li> </ul>
6	<p>新たな地域連携に係る取り組みを具体化する努力をしていますが、これについてのご意見をください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒全員に、年一回以上ボランティア活動を義務付けてはどうか。</li> <li>・商工会議所や商店街連合会、まち歩きセンターとの連携が強化されて、生徒が地域と関わって学びながら地域の発展に寄与する取り組みが行われるようになってきて大変ありがたい。今後も継続してほしい。</li> <li>・しきしうの栽培から商品開発などの取り組みがすばらしい。商店街への取材もありがたい。</li> <li>・松代高校でしかできないような地域連携ができたらいと思う。</li> </ul>
	<p>学校運営への意見の反映はできていると思われますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人の意見を聞く機会として有効に活用してほしい。</li> <li>・とても反映されていると思う。</li> </ul>

◆その他本校の教育活動について、ご意見等を記入してください。

- ・再編が話題となっている時期なので、地域との相互連携をより一層深めてほしい。
- ・コロナ禍できなかつたことが、徐々に実行に移されてよい結果が出ることを期待している。
- ・運動部の活動が地域を盛り上げる。また、話題性のある何かが高校の魅力を高める。
- ・いろんな場面で生徒や先生と話す機会があり、先生が生徒の自主性や主体性、良いところをしっかり支えて指導されていることを実感している。
- ・地域住民として、松代高校のあたたかさを誇りに思う。